



# MBニュース



## 【中国産ぎんなん情報】

丸松物産株式会社

ぎんなんの産地であります広西省では、9月上旬頃から原料の収穫およびその買付が始まりました。11月上旬頃までは続く見通しです。現地からの産地情報は以下の通りです。

- ① 7年前から中国政府が、都市の環境を美化する為、いちようを街路樹として市内に移植させて来ましたが、今年もその影響は大きくはなく、収穫量は昨年並みに落ち着くものと予想されております。その他の産地(湖北省、山東省)では、やや減収との情報ですが、昨年は全体的に豊作であった為、ヒネ物原料が余っている模様です。
- ② 現地での原料価格の相場は、昨年に比べて約10%下落しておりますが、物価および人件費については、昨年比で約15%上昇しています。
- ③ 上述の通り、原料の下落と物価・賃金上昇の他に、国際および中国経済状況の影響で、銀杏の輸出と国内販売の両方が不調気味となっており、それらの影響で農家での収穫意欲と生産工場(特に国内向けの工場)の生産意欲が減退しているとのことです。

## 【過去10年間の中国の貿易の伸びは世界平均の倍以上】

税関総署によると中国の対外貿易は過去10年間に年平均21.7%の伸びを示し、世界平均の約10%の倍以上となった。世界全体の貿易を占める中国の割合は2002年の4.7%から2011年の10.2%へと年々増加。2009年以降、3年連続で世界第2の貿易大国の座にある。





税関の統計によると、輸出総額の世界全体に占める割合は2002年の5%から2011年には10.4%へと増加。輸入総額は5.9倍になり、世界全体に占める割合は2002年の4.4%から2011年には9.5%へと増加した。

注目に値するのは旺盛な内需と輸入拡大政策によって、中国の輸入が全体の貿易の急速な伸びを力強く牽引したことだ。特に2008年の世界金融危機後、中国は世界全体の貿易の回復と成長における「エンジン」となっている。

税関の統計によると、世界全体の輸入の伸びが15.4%にまで減速した2008年の段階でも、中国の輸入は18.5%の急速な伸びを維持した。2009年に中国の輸入は11.2%減少したが、同じ時期に世界全体の輸入は23.3%減少していた。2010年に中国の輸入は38.8%伸び、世界全体の伸びを17.7ポイント上回った。2010年と2011年に中国の力強い輸入は世界全体の輸出を7374億ドル増加させ、世界全体の貿易の増加と経済回復を力強く牽引した。(編集NA)

「人民網日本語版」2012年10月3日より抜粋

## 【旬のお奨め商品情報】

<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>①</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>②</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>③</p>  </div> </div> <p>①1号缶(固形量:1,800g) ②7号缶(固形量:180g) ③無着色銀杏1.15kg(固形量:750g)</p>	商品名	SDFぎんなん水煮	 <p style="text-align: center;"><b>【盛付け例】</b></p>
	商品特徴	中国で加工された「ぎんなん」です。水煮なので、殻むきの手間が省け、簡単にご使用いただけます。茶碗蒸しや炒め物の具材のほか、串焼きなど幅広くご使用頂けます。	
	主要原材料	ぎんなん	
	賞味期限	①、②製造日より3年、③製造日より10ヶ月	
使用上の注意	開封後はガラス容器などに移し替え、10℃以下で冷蔵保存し、5日以内にお召し上がり下さい。		

以上